

後席用モニター取付キット(セレナ)

RKTN-SE

取付説明書

車種名	年式	型式	
セレナ	H22年11月～現在	C26 NC26	FC26 FNC26

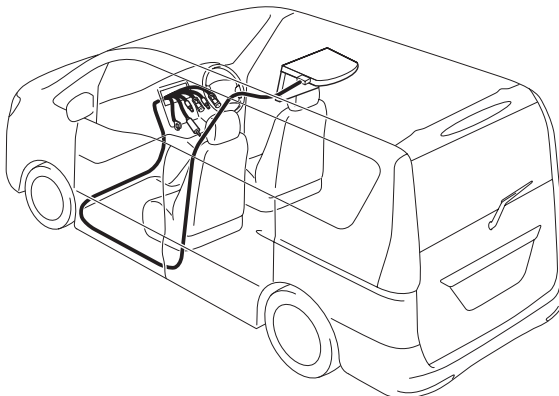
お客さまへのお願い

- この説明書はセレナ専用です。
取り付けおよび接続を行う前に、必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しく作業を行ってください。
- 指定以外の取付方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。
- 製品の取り付けには、専門技術と経験が必要です。お買い上げの販売店での取り付けをお薦めします。
- 本機の取り付けには車両部品の加工が必要です。必ず取り付け前に加工内容および注意事項をご確認ください。
(☞ルーフヘッドライニングを下げて作業する場合P.7～10)
(☞ルーフヘッドライニングを下げないで作業する場合P.14～17)
- 安全運転のため、ご使用前に「取扱説明書」(モニター本体に同梱)、「取付説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 「取扱説明書」(モニター本体に同梱)、「取付説明書」をお読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

—販売店様へ—

- 本機の取り付けには車両部品の加工が必要です。車両部品の加工については必ずお客様にご確認のうえで作業を行ってください。
(☞ルーフヘッドライニングを下げて作業する場合P.7～10)
(☞ルーフヘッドライニングを下げないで作業する場合P.14～17)
- 取り付け、接続作業が完了しましたら、この取付説明書をお客様へお渡しください。

取付概要図



目次

取り付ける前に

作業方法の選択	2
構成部品	3
作業の進め方	3
安全に正しくお使いいただくために	4

取付要領

接続のしかた	6
■ルーフヘッドライニングを下げて作業する場合	7
ルーフヘッドライニングの切り取り	7
車両部品の取り外し	11
ブラケットの取り付け	13
■ルーフヘッドライニングを下げないで作業する場合	14
ルーフヘッドライニングの切り取り	14
車両部品の取り外し	18
ブラケットの取り付け	19
■共通	20
ハーネスの取り付け	20
後席用モニターの取り付け	22

取り付け後の確認

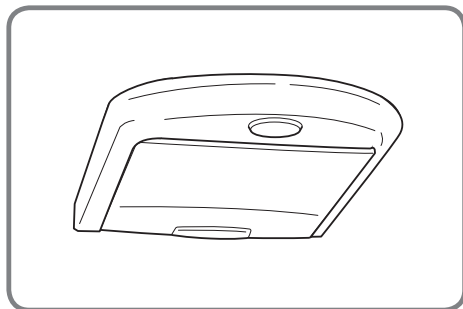
取り付け後の作動確認	24
------------	----

作業方法の選択

●本製品は、2通りの取り付けが可能です。それぞれの取付手順をよくお読みいただき、特徴をよく理解した上で作業を行ってください。

■ ルーフヘッドライニングを下げて作業する場合(推奨)

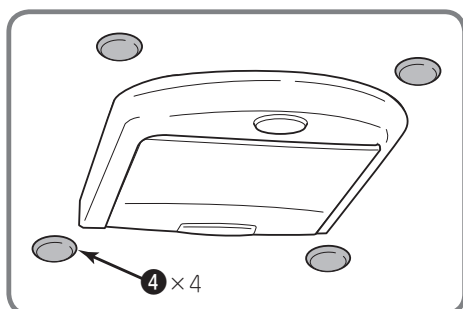
(☞ P.7~13)



- 利点
 - ・ルーフヘッドライニングにボルト用の穴をあけないため、見栄えがよくなります。
- 欠点
 - ・脱着部品が多いため、取り付けに時間がかかります。

■ ルーフヘッドライニングを下げないで作業する場合

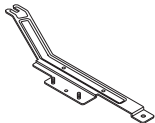
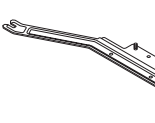
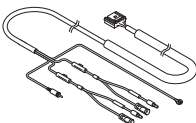
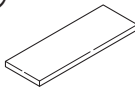
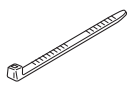
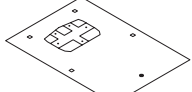
(☞ P.14~19)



- 利点
 - ・上記に比べ脱着部品が少なく、取り付けが短時間でできます。
- 欠点
 - ・ルーフヘッドライニングにボルト締め付け作業用の穴をあけます。そのため、左図の様にネジ隠しキャップ④を使用して穴を塞ぎます。

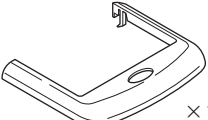
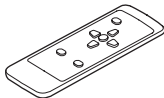
●構成部品

●キット関係

①ブラケット(R)  ×1	②ブラケット(L)  ×1	③メインハーネス  ×1
④ネジ隠しキャップ  ×4	⑤六角ボルト  ×4	⑥六角ナット  ×4
⑦スポンジスペーサ  ×3	⑧ハーネス固定テープ  ×1	⑨バンドクランプ  ×10
⑩型紙  ×1		

※その他の構成部品(取付説明書等の資料類)

●後席用モニター本体関係

⑪後席用モニター本体  ×1	⑫モニターカバー  ×1	⑬リモコン  ×1
---	--	--

※その他の構成部品(取扱説明書、保証書等の資料類)

●作業の前に

- 取り付ける前に構成部品をご確認ください。
- 取り付けには、一般工具のほか、はさみやカッターナイフ、布きれが必要です。
- ネジやボルト、ナットの取り付けには、寸法の合う工具をお使いください。
- 別売の外部機器を接続する場合には、必ず指定品をお使いのうえ、各機器の取付説明書をよくお読みの上、正しく作業を行ってください。

●作業の進め方

- | | |
|---------------------|---|
| 1) 構成部品の確認 | ( 構成部品) |
| 2) バッテリーの⊖端子を外す | |
| 3) 接続を確認する | ( 接続のしかた) |
| 4) ルーフヘッドライニングを加工する | ( ルーフヘッドライニングの切り取り) |
| 5) 車両部品を取り外す | ( 車両部品の取り外し) |
| 6) ブラケットを取り付ける | ( ブラケットの取り付け) |
| 7) メインハーネスを配線する | ( ハーネスの取り付け) |
| 8) 後席用モニターを取り付ける | ( 後席用モニターの取り付け) |
| 9) バッテリーの⊖端子を元に戻す | |
| 10) 作動確認をする | ( 取り付け後の作動確認) |

必要工具

プラスドライバー、マイナスドライバー、ボックスレンチ、トルクレンチ、ラチェットハンドル、リムーバー、クリップ外し、ニッパ、プライヤー、カッターナイフ、セロハンテープ、マスキングテープ、保護メガネ、保護手袋(ケブラ手袋等)、押しピン、ヒモ(タコ糸等)

●安全に正しくお使いいただくために

お客様や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。その表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

❗ : しなければならないことを表しています。

⊘ : してはいけないことを表しています。

⚠ : 注意をしなければならないことを表しています。

●本機取り付けのために必ず守っていただきたいこと、知っておくと便利なことを下記の表示で記載しています。

🔧 アドバイス

この表示は、本機の故障や破損を防ぐために守っていただきたいこと、知っておくと便利なこと、知っておいていただきたい内容を示しています。

⚠ 警告

❗ 本機はDC12V⊖アース車専用です。

大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車等の24V車での使用はしないでください。火災の原因となります。

❗ 取り付け作業前には、必ずバッテリーのマイナス⊖端子をはずしてください。

プラス⊕とマイナス⊖経路のショートによる感電や怪我の原因となります。

⊘ 本機を次のような場所には取り付けしないでください。

本機を、前方の視界を妨げる場所や、ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダル等の運転操作を妨げる場所等運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所等には絶対に取り付けしないでください。交通事故や怪我の原因となります。

⚠ 車体に穴をあけて取り付ける場合は、注意して作業を行う。

車体に穴をあけて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線等の位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないように注意して行う。火災の原因となります。

❗ 穴あけ作業をする場合は、ゴーグル等の目を保護するものを使用する。

破片等が目に入ったりして怪我や失明の原因となります。

⊘ 車体のボルトやナットを使用して機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンク等の保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しない。

保安部品を使用しますと、制動不能や発火、事故の原因となります。

⊘ 本機を分解したり、改造しない。

事故、火災、感電の原因となります。

❗ ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズを使用する。

規定容量を越えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。

⊘ 画面が出ない、音が出ない等の故障状態で使用しない。

そのまま使用すると、事故、火災、感電の原因となります。

❗ 万一、異物が入った、水がかかった、煙りが出る、変な匂いがする等の異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談する。

そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。

⊘ エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に本機の取り付けと配線をしない。

車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバッグ動作を妨げる場所に取り付け・配線すると誤作動を起こしたり、交通事故の際、エアバッグシステムが正常に動作しないため、怪我の原因となります。

⊘ 電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対に止める。

電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。

⚠ 警告

❗ 接続したコードや使用しないコードの先端等、被覆がない部分は絶縁性テープ等で絶縁する。

ショートにより火災、感電の原因となります。

❗ コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめる。

ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダル等に巻きつくと事故の原因となり危険です。

⊘ 指定の後席モニター以外のものを装着しない。

本製品を本来の目的以外に使用しないでください。

⊘ 本製品に装着した後席モニターにぶら下がったりしないでください。

事故や破損の原因になります。

❗ シートベルトを必ず着用する。

急発進、急停車等での事故防止のため、乗車する際は必ずシートベルトを着用してください。シートベルトを着用しない場合、事故や怪我の原因となります。

❗ 運転中に操作をしたり、画面を見ない。

運転中の操作や、画面の視聴は、事故や怪我の原因となります。操作を行う場合や、画面を見る場合は、安全な場所に停車してください。

❗ 取付説明書で指定された通りに接続してください。

正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。

注意

❗ 本機の取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。

安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。誤った配線をした場合、車両に重大な支障をきたす場合があります。

❗ 必ず付属の部品を指定通り使用してください。

指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れることがあり危険です。

⊘ 雨が吹き込むところ等の水のかかるところや湿気、埃、油煙の多いところへの取り付けは避けてください。

本機に水や湿気、埃、油煙が混入しますと、発煙や発火、故障の原因となることがあります。

⊘ しっかりと固定できないところや振動の多いところへの取り付けは避ける。

本機が外れて運転の妨げとなり交通事故や怪我の原因となることがあります。

⊘ 直射日光やヒーターの熱風が直接当たるところ等へ取り付けない。

金属部分が高温になり、火傷をする可能性があります。
また、本機の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。

⊘ 本機の通風孔や放熱板、ファンをふさがない。

通風孔や放熱板、ファンをふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

⚠ 車体のネジ部分、シートレール等の可動部にコード類をはさみ込まないように配線する。

断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。

❗ コードが金属部に触れないように配線する。

金属部に接触しコードが破損して火災、感電の原因となることがあります。

❗ コードの配線は、高温部を避けて行う。

コード類が車体の高温部に接触すると被覆が溶けてショートし、火災、感電の原因となることがあります。

⊘ コード類を決して切断しない。

コード類には、ヒューズ等が付いている場合があるので、保護回路が働かなくなり、火災の原因となることがあります。

⊘ 電源用リード線をバッテリーに直接接続しない。

機器を動作させるための電流容量が不足して、バッテリーから直接、電源を取る必要がある場合はバッテリー専用の配線キットを使用してください。

⚠ コード等の車内への引き込みは、十分注意する。

雨、水の車内への浸入を防ぐためコード等の車内への引き込みには十分気をつけて作業を行ってください。車内に浸水すると、火災や感電の原因となることがあります。

⊘ 本機を車載用として以外は使用しないでください。

感電や怪我の原因となることがあります。

❗ ネジ等の部品は大切に保管する。

ネジ等の小物類は、幼児の手が届かないところに保管してください。飲み込んだり、怪我の原因となります。

❗ ネジ等をしっかり締める。

しばらく走行したのちに各部にがたつき等緩みがないことを確認してください。事故や怪我、故障の原因となります。

⚠ 製品取り外し後、内装に装着跡が残ることがあります。

本製品はルーフ内装部に直接装着し、ぶれ防止のため内装に密着し固定する仕様です。後席モニターを取り外し後、内装に装着跡が残る場合があります。

⊘ 電動ドライバーは使用しない。

電動ドライバーは調節が難しく、ネジ穴や車両を破損する恐れがあります。怪我の原因となります。

⚠ 本機の取り付けには、車両部品の加工が必要です。

本機を取り付ける前の状態に復元するには、部品の交換が必要です。ただし、加工した車両部品については、車両メーカーの保証対象外となるおそれがあります。
また、本書に従って車両部品の加工を行った結果による車両価値の変動や評価、車両メーカーの保証が受けられなかったことによる修理・交換費用等については弊社では補償いたしかねます。

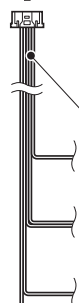
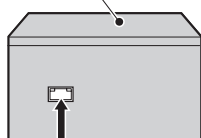
●接続のしかた

⚠ 注意

- メインユニットや取付キット付属の接続要領を参照して接続してください。
- 接続しない端子は、ビニールテープ等で絶縁処理をしてください。絶縁処理をしないとショートにより火災、感電の原因になります。

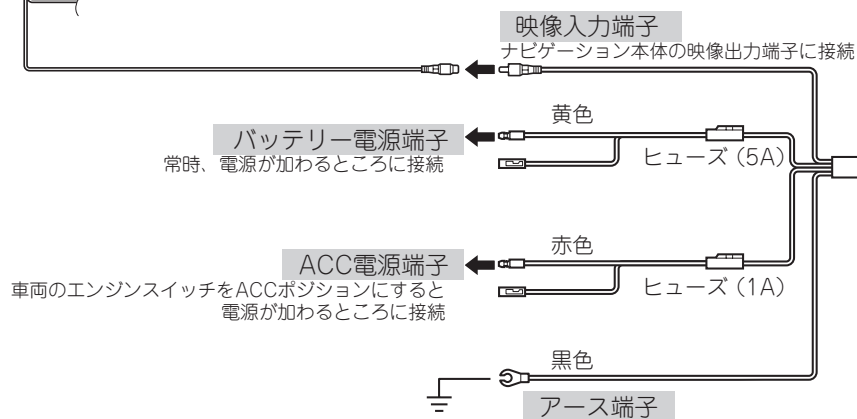
別売

メインユニット



別売「拡張配線キット」等

ナビゲーション本体に映像出力コードが付属していない場合、別売の配線キット等が必要です。接続可能な配線キットについては、ECLIPSEのWebサイト内、「お客様サポート(<http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/>)」をご確認ください。



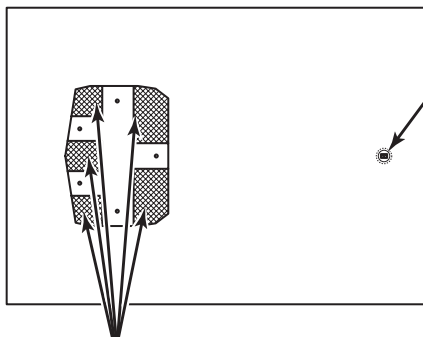
● ルーフヘッドライニングの切り取り

■ ルーフヘッドライニングを下げた作業する場合

⚠ 注意

- 取り付け作業は、ルーフヘッドライニングに無理な力を加えて折り曲げないように注意してください。天井にシワが残ります。
- 車両部品を取り外す前にルーフヘッドライニングの加工を行ってください。
- 車両部品(フロントピラーガーニッシュ、アッパートリム等)脱着の際に、ウェザーストリップを取り外した場合は、車両部品を元に戻した後、ウェザーストリップを元に戻してください。
- 加工したルーフヘッドライニングを元の状態に復元するには、部品交換が必要になります。
- 加工したルーフヘッドライニングについては、自動車メーカーの保証対象外となるおそれがあります。また、車両部品の修理・交換については、弊社では補償できません。

クリップ穴の
ハッチング部を切り取る



ハッチング部 (5箇所)を切り取る

1 型紙を準備する

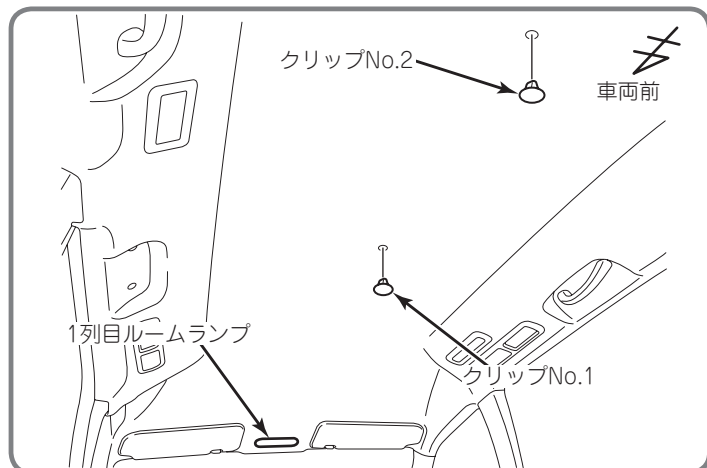
- ① 型紙⑩の切り取り位置を確かめて、カッターナイフやはさみ等で切り取り線に沿って切り取る。



アドバイス

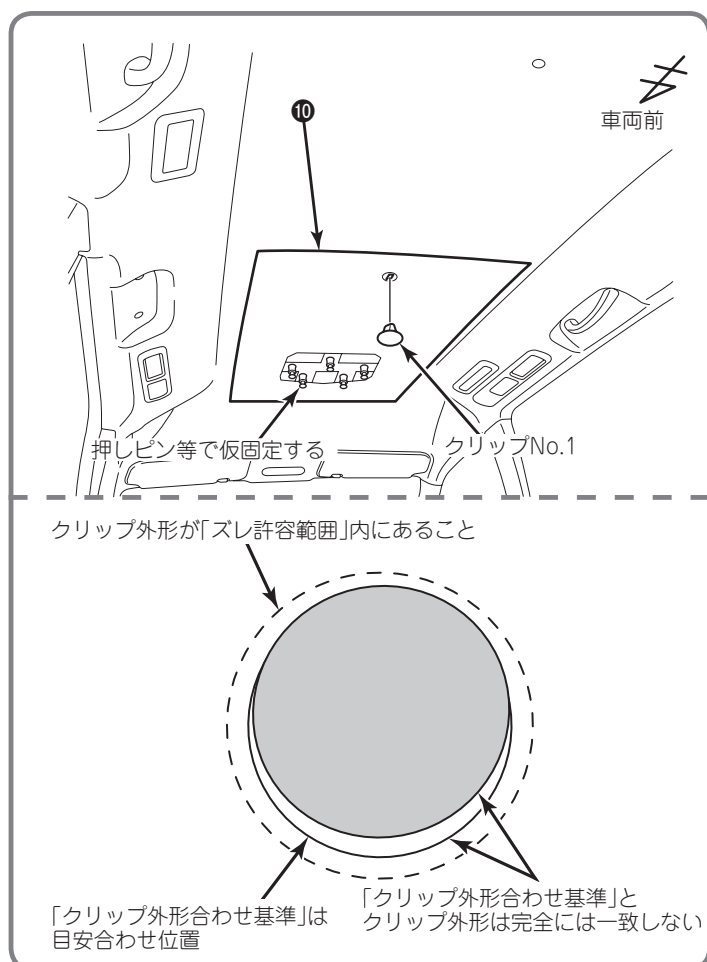
- カッターナイフやはさみ等を使用して、型紙基準位置およびマーキング位置を切り取ってください。

■ ルーフヘッドライニングを下げた作業する場合



2 型紙を車両に合わせ

① クリップ(2箇所)を取り外す。

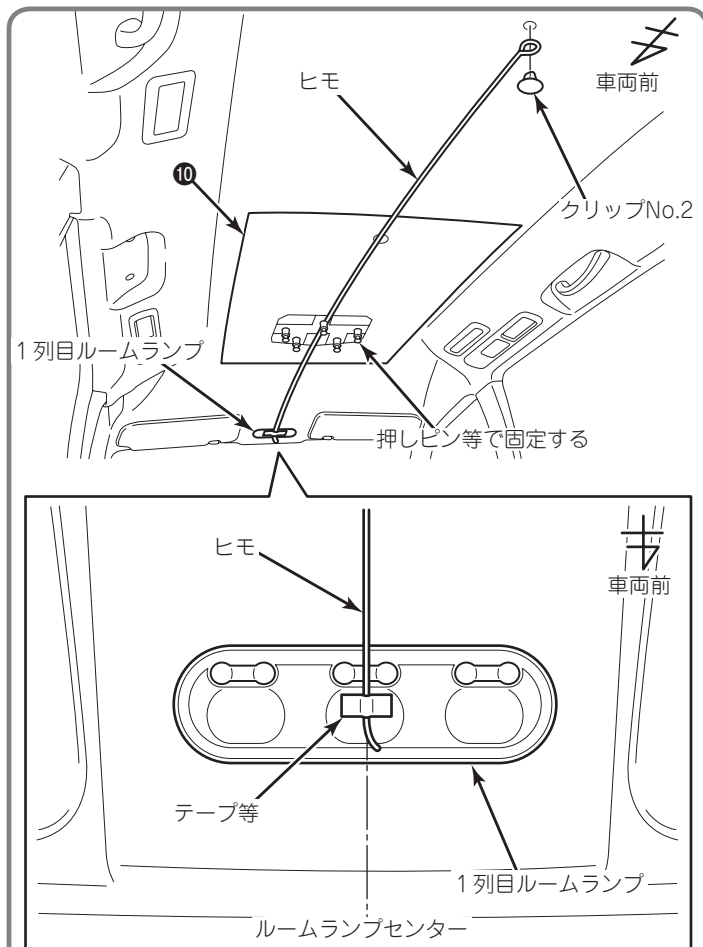


- ② 型紙⑩を型紙基準位置(クリップNo.1穴)に合わせ、クリップNo.1を取り付ける。
- ③ 型紙⑩を押しピン等を使用して、ルーフヘッドライニングに仮固定する。

アドバイス

- 型紙基準位置(クリップNo.1穴)にクリップNo.1を取り付ける際、型紙⑩が破れないように気をつけてください。
- 型紙⑩の「ズレ許容範囲」内にクリップ外形を合わせれば、ルーフヘッドライニングを切り取った後、切り欠き部分は後席用モニターの裏に隠れます。
- 型紙⑩の「クリップ外形合わせ基準」は目安ですので、クリップ外形と完全には一致しません。

■ ルーフヘッドライニングを下げ作業する場合



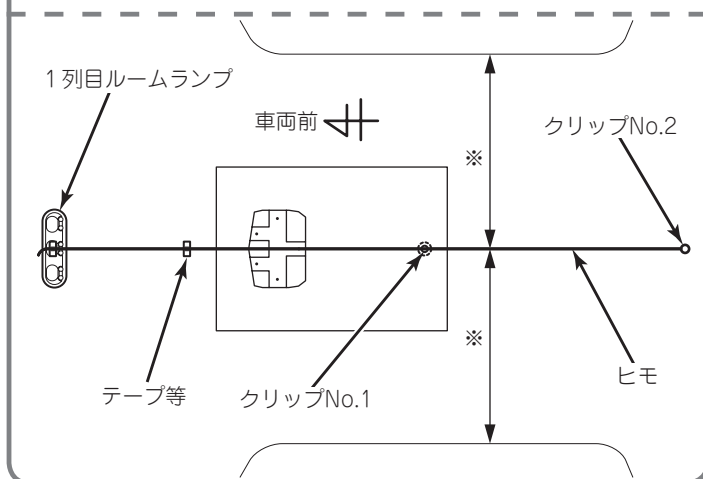
- ④ 1列目ルームランプの中心とクリップNo.2にヒモをテープ等で貼る。
- ⑤ 型紙センターラインとヒモ(ルームランプセンター)が重なるように型紙⑩を調整する。
- ⑥ 型紙⑩のセンターラインから後席ドア開口部までの寸法(左右)を測定し、左右※印部寸法が同じ値になるように型紙⑩を調整する。
- ⑦ 型紙⑩を押しピン等でルーフヘッドライニングに固定する。

⚠ 注意

- 型紙⑩の型紙基準位置をしっかりと合わせて固定してください。左右方向の車両中心線と型紙中心線とのズレ量を±5mm以内に合わせてください。ズレ量が大きくなると、ルーフヘッドライニングの切り欠き穴が後席用モニターの周囲からはみ出る恐れがあります。

🔧 アドバイス

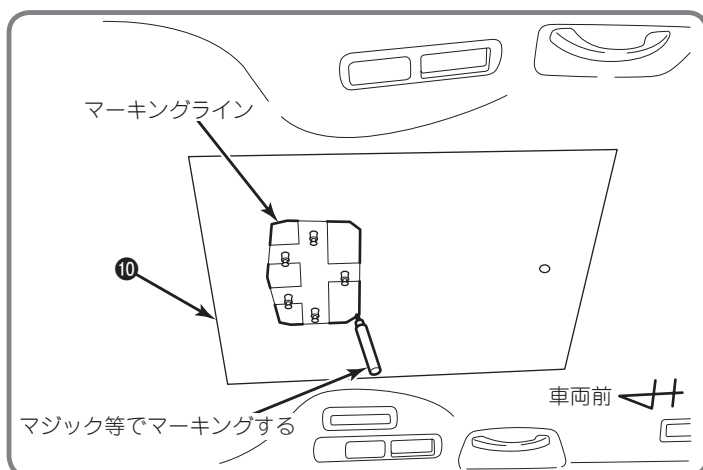
- ヒモは、たるまないように固定してください。



- ⑧ 型紙⑩のマーキングライン(太線部)に沿ってルーフヘッドライニングにマジック等でマーキングする。
- ⑨ 型紙⑩を取り外す。

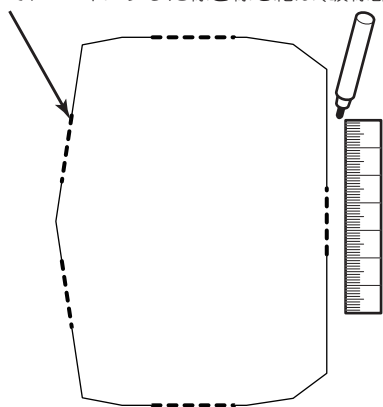
⚠ 注意

- 型紙⑩を取り外す際、車室内に押しピン等を残さないようにしてください。押しピン等でケガをする恐れがあります。



■ ルーフヘッドライニングを下げた作業する場合

定規等を使用して、マーキングした線と線を結ぶ(破線部)



3 ルーフヘッドライニングを切り取る

① ルーフヘッドライニングにマーキングした線と線を、定規等で結ぶ。

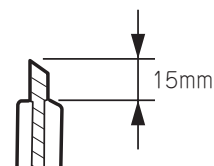
② ルーフヘッドライニングのマーキング部をカッターナイフ等で切り取る。

⚠ 注意

- ルーフヘッドライニングを切り取る際、保護メガネと保護手袋(ケブラ手袋)を着用して作業を行ってください。これらの保護具を着用しないで作業を行うと、切り粉が目に入ったり、カッターナイフ等やガラス繊維で手などにケガをする恐れがあります。
- 天井裏の車両ハーネスを切断しないよう注意して作業を行ってください。

🔪 アドバイス

- カッターナイフ等の刃先は15mm程度出して切り取り作業を行ってください。



- 矢印の向き➡に合わせてカッターナイフ等の刃を向けてください。
- 切り取り作業後に車室内に落ちた切りくずを取り除いてください。
- マーキングしたラインの外側を切り取ってください。

マーキングライン

カッターナイフ等で切り取る

車両前

外側ラインを切る

カッターナイフ等で切り取る

●車両部品の取り外し1

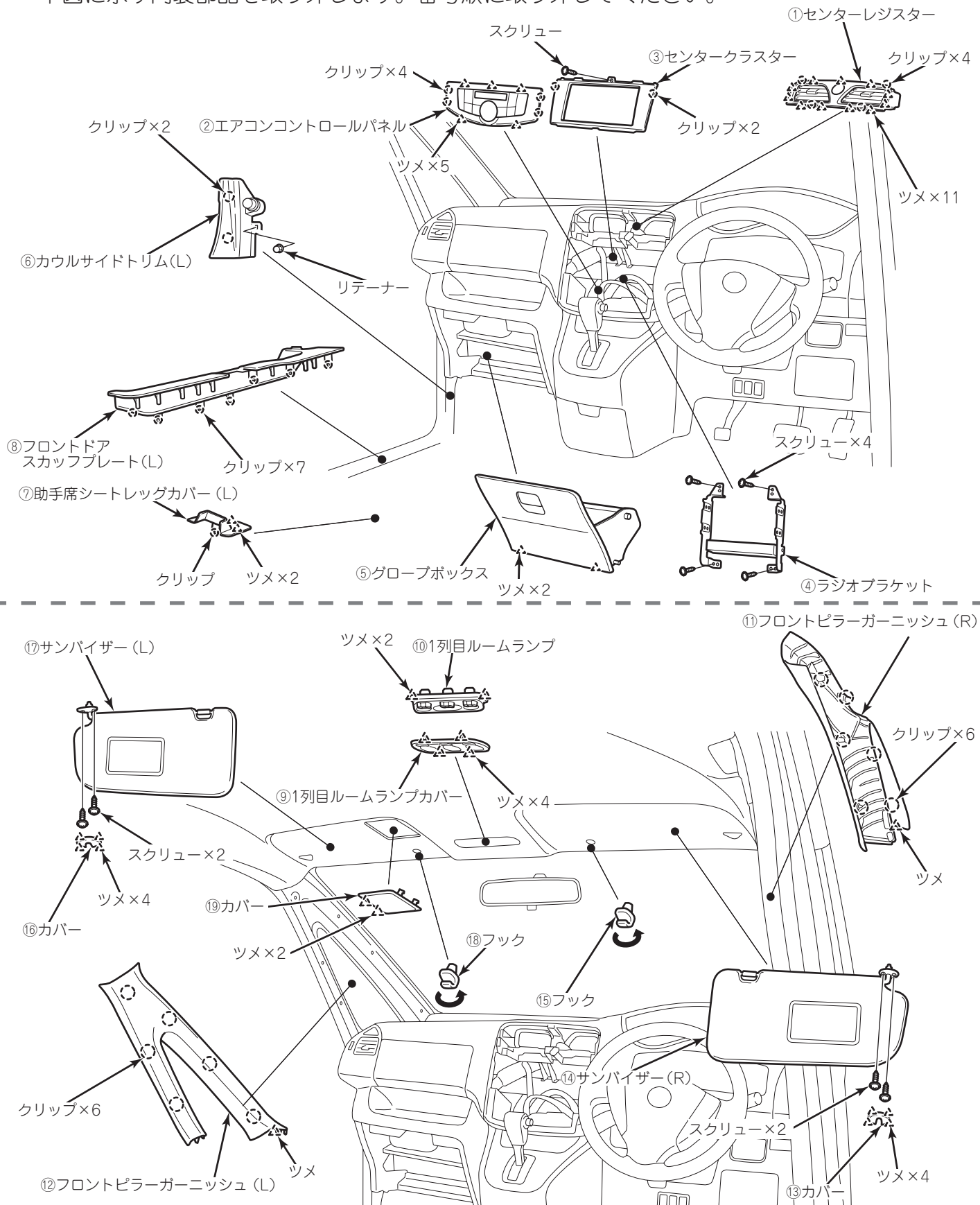
■ ルーフヘッドライニングを下げた作業する場合



注意

- キズ防止のため、要所をマスキングテープ等で保護してください。
- ネジおよびクリップ等の紛失に注意してください。

・下図に示す内装部品を取り外します。番号順に取り外してください。



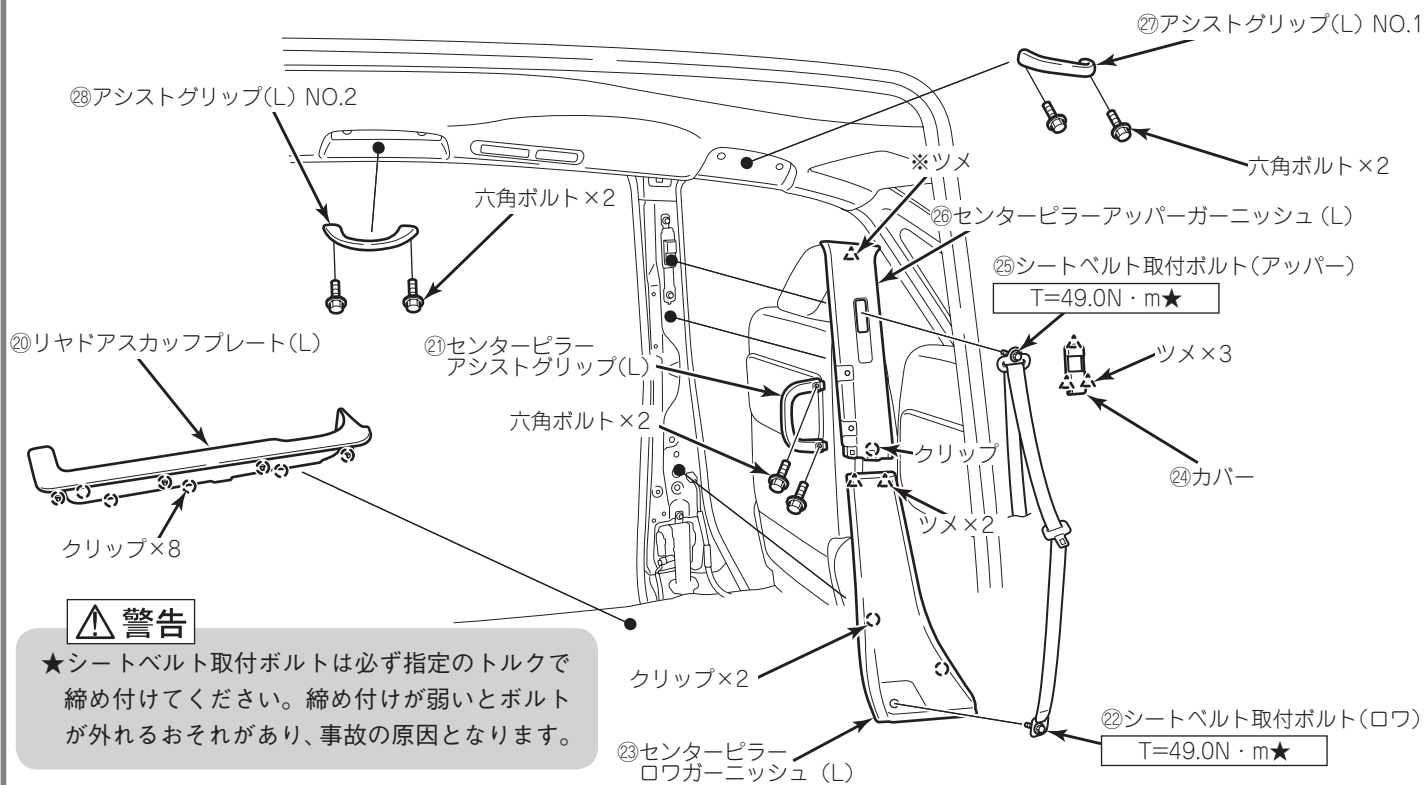
●車両部品の取り外し2

■ ルーフヘッドライニングを下げ作業する場合

⚠ 注意

- キズ防止のため、要所をマスキングテープ等で保護してください。
- ネジおよびクリップ等の紛失に注意してください。
- センターピラーアップパーガーニッシュ (L、R) のツメ(※部)が壊れやすい為、注意して取り外してください。
ツメ(※部)が破損した場合は、必ず新しい部品をお買い求めのうえ、取り付けを行ってください。
品名：センターピラーアップパーガーニッシュ (左)
・カーテンエアバッグ無し車用
純正品番：B8088-1VA01 (別売)
・カーテンエアバッグ付き車用
純正品番：B8088-1VA11 (別売)
品名：センターピラーアップパーガーニッシュ (右)
・カーテンエアバッグ無し車用
純正品番：B8088-1VA00 (別売)
・カーテンエアバッグ付き車用
純正品番：B8088-1VA10 (別売)
- 品番は予告なく変更になる場合があります。カーディーラー等にお問い合わせください。

・下図に示す内装部品を取り外します。番号順に取り外してください。

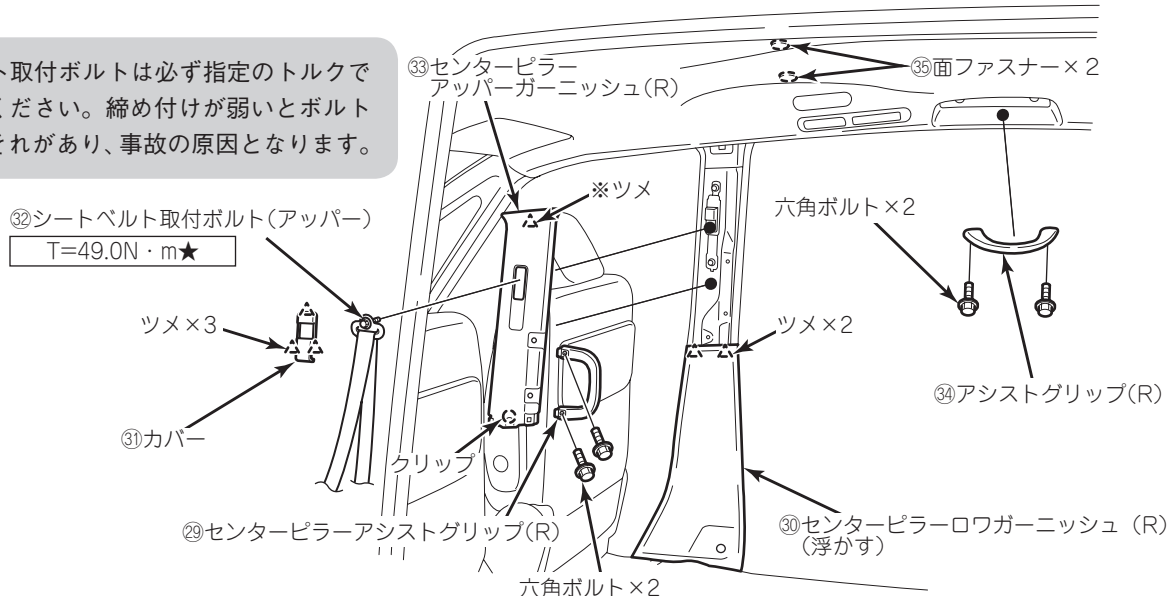


⚠ 警告

★シートベルト取付ボルトは必ず指定のトルクで締め付けてください。締め付けが弱いとボルトが外れるおそれがあり、事故の原因となります。

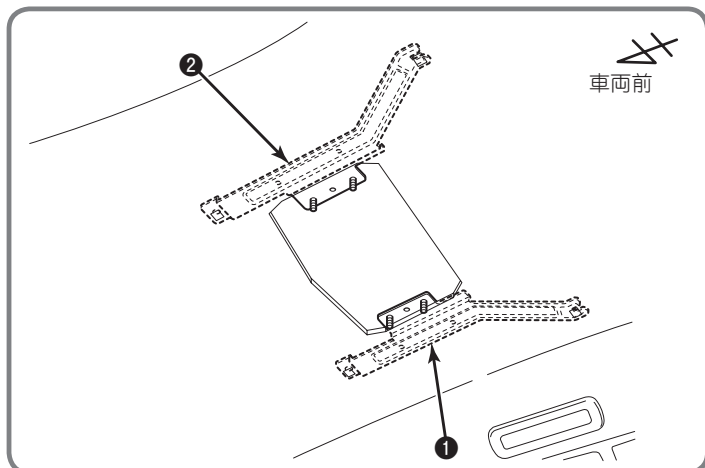
⚠ 警告

★シートベルト取付ボルトは必ず指定のトルクで締め付けてください。締め付けが弱いとボルトが外れるおそれがあり、事故の原因となります。



●ブラケットの取り付け

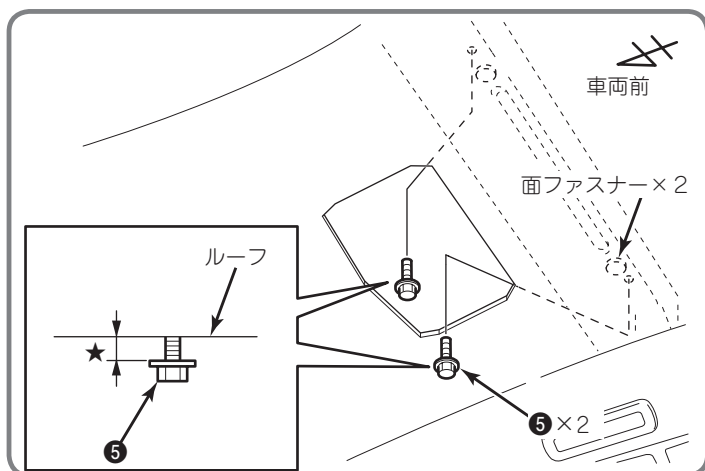
■ ルーフヘッドライニングを下げた作業する場合



■ ブラケット取付位置概要

🔧 アドバイス

- 前述の車両部品を取り外すとルーフヘッドライニングを少し下げることができます。ルーフヘッドライニングの切り欠き穴から手を入れて作業を行ってください。



1 ブラケットの取り付け

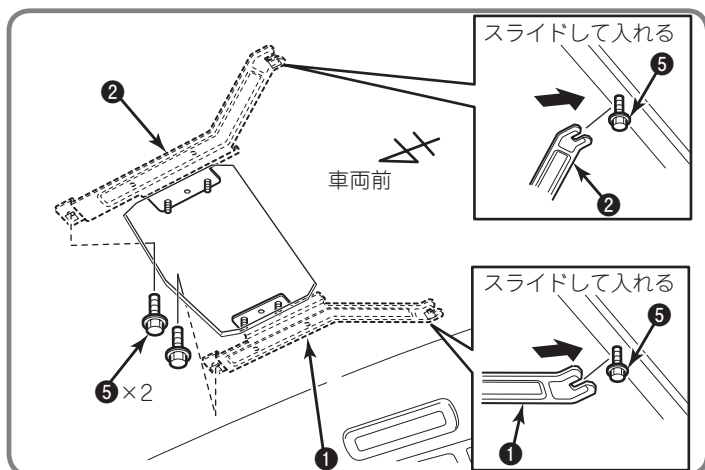
- ① 六角ボルト⑤を車両後ろ側の取付穴に仮固定する。

⚠ 注意

- 車両の金属部等で手を切らないように注意して作業を行ってください。
- ルーフヘッドライニングに無理な力を加えて折り曲げないように注意してください。

🔧 アドバイス

- 六角ボルト⑤は、ブラケット(R、L)①・②が入る程度の★隙間を残し、仮固定してください。



- ② 取付ブラケット(R、L)①・②を車両に取り付ける。
- ③ 六角ボルト⑤を締め付ける。
- ④ ルーフヘッドライニングを元の位置に戻す。

⚠ 注意

- 車両の金属部等で手を切らないように注意して作業を行ってください。
- 取付ブラケット(R、L)①・②のガタツキやゆるみが無く固定されていることを確認してください。六角ボルト⑤の締め付けが弱いと固定が外れ、脱落し思わぬ事故につながる恐れがあります。
- ルーフヘッドライニングに無理な力を加えて折り曲げないように注意してください。

🔧 アドバイス

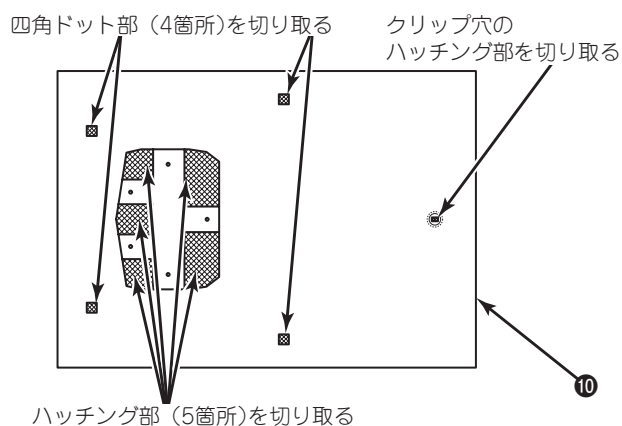
- 車両後ろ側の六角ボルト⑤に取付ブラケット(R、L)①・②を引っ掛けてから、車両前側の六角ボルト⑤を固定位置に合わせてください。

●ルーフヘッドライニングの切り取り

■ ルーフヘッドライニングを下げないで作業する場合

⚠ 注意

- 取り付け作業は、ルーフヘッドライニングに無理な力を加えて折り曲げないように注意してください。天井にシワが残ります。
- 車両部品を取り外す前にルーフヘッドライニングの加工を行ってください。
- 車両部品(フロントピラーガーニッシュ、アッパートリム等)脱着の際に、ウェザーストリップを取り外した場合は、車両部品を元に戻した後、ウェザーストリップを元に戻してください。
- 加工したルーフヘッドライニングを元の状態に復元するには、部品交換が必要になります。
- 加工したルーフヘッドライニングについては、自動車メーカーの保証対象外となるおそれがあります。また、車両部品の修理・交換については、弊社では補償できません。



1 型紙を準備する

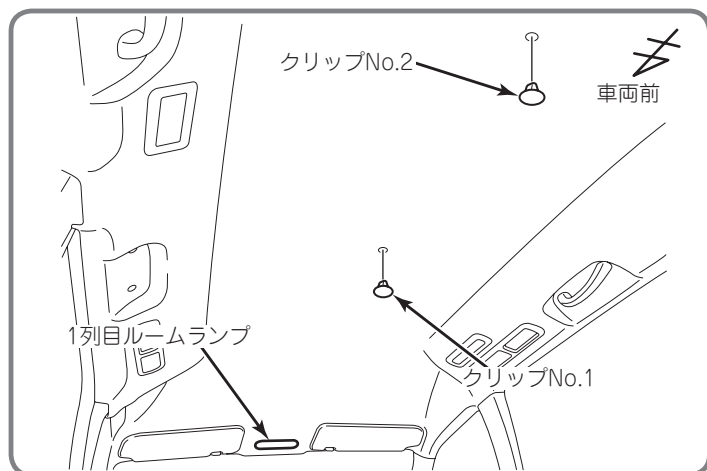
- ① 型紙⑩の切り取り位置を確かめて、カッターナイフやはさみ等で切り取り線に沿って切り取る。

🔧 アドバイス

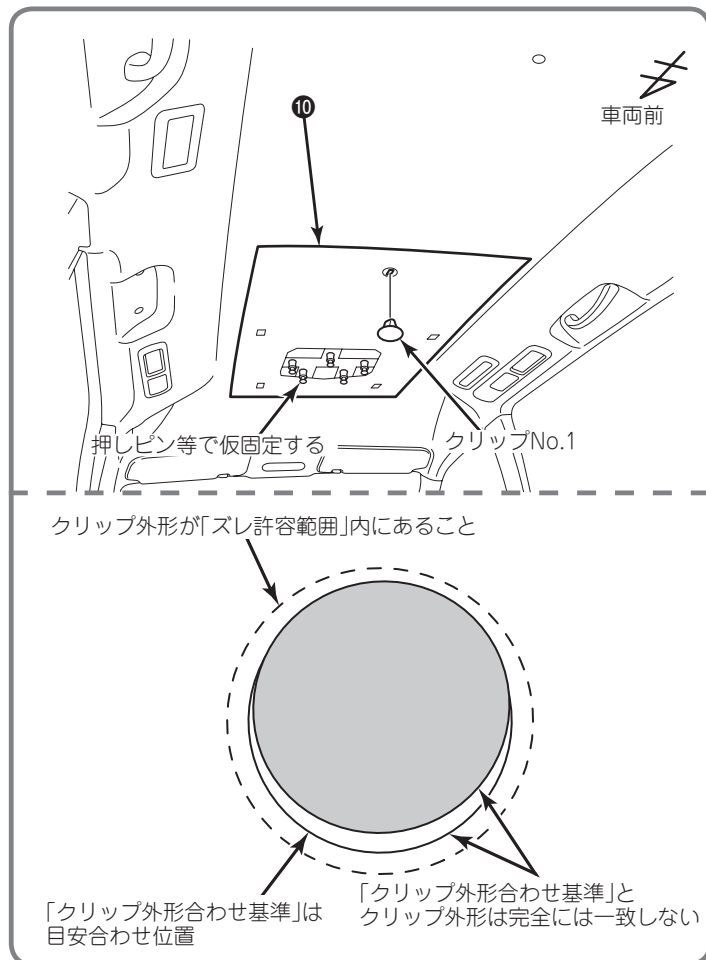
- カッターナイフやはさみ等を使用して、型紙基準位置およびマーキング位置を切り取ってください。

2 型紙を車両に合わせる

- ① クリップ(2箇所)を取り外す。



■ ルーフヘッドライニングを下げないで作業する場合

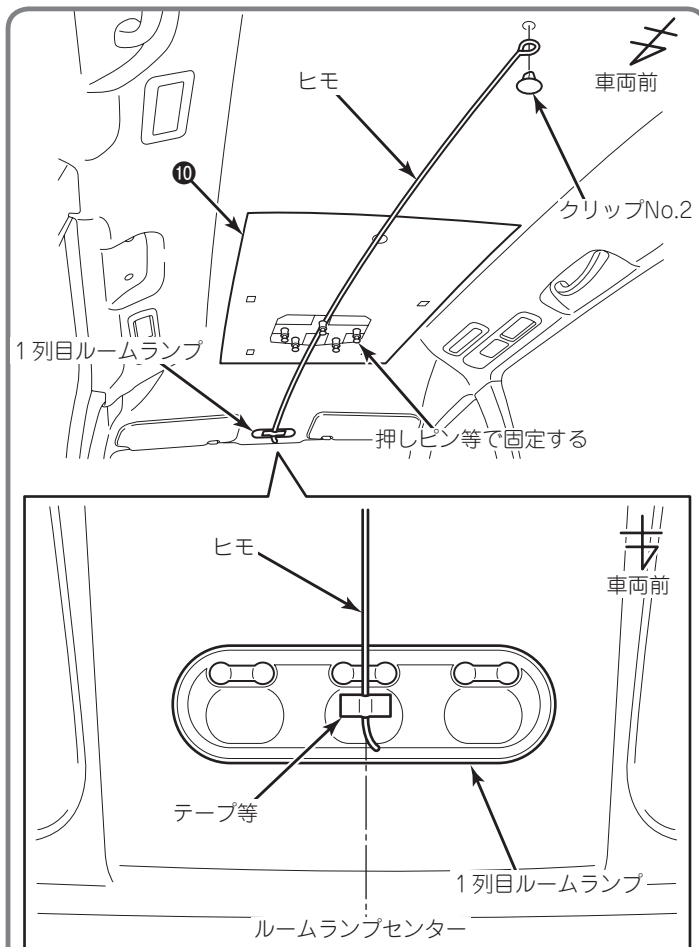


- ② 型紙⑩を型紙基準位置(クリップNo.1穴)に合わせ、クリップNo.1を取り付ける。
- ③ 型紙⑩を押しピン等を使用して、ルーフヘッドライニングに仮固定する。

📌 アドバイス

- 型紙基準位置(クリップNo.1穴)にクリップNo.1を取り付ける際、型紙⑩が破れないように気をつけてください。
- 型紙⑩の「ズレ許容範囲」内にクリップ外形を合わせれば、ルーフヘッドライニングを切り取った後、切り欠き部分は後席用モニターの裏に隠れます。
- 型紙⑩の「クリップ外形合わせ基準」は目安ですので、クリップ外形と完全には一致しません。

■ ルーフヘッドライニングを下げないで作業する場合



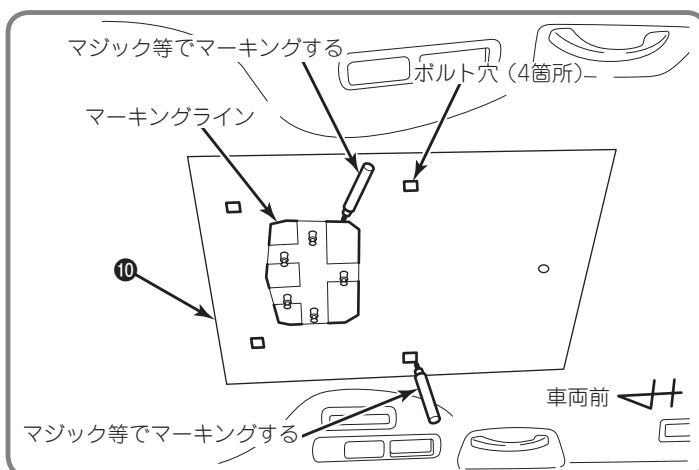
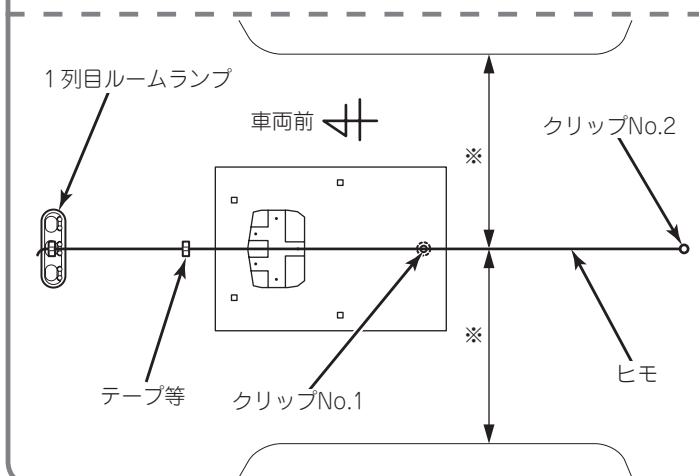
- ④ 1列目ルームランプの中心とクリップNo.2にヒモをテープ等で貼る。
- ⑤ 型紙センターラインとヒモ(ルームランプセンター)が重なるように型紙⑩を調整する。
- ⑥ 型紙⑩のセンターラインから後席ドア開口部までの寸法(左右)を測定し、左右※印部寸法が同じ値になるように型紙⑩を調整する。
- ⑦ 型紙⑩を押しピン等でルーフヘッドライニングに固定する。

⚠ 注意

- 型紙⑩の型紙基準位置をしっかりと合わせて固定してください。左右方向の車両中心線と型紙中心線とのズレ量を±5mm以内に合わせてください。ズレ量が大きくなると、ルーフヘッドライニングの切り欠き穴が後席用モニターの周囲からはみ出る恐れがあります。

🔧 アドバイス

- ヒモは、たるまないように固定してください。



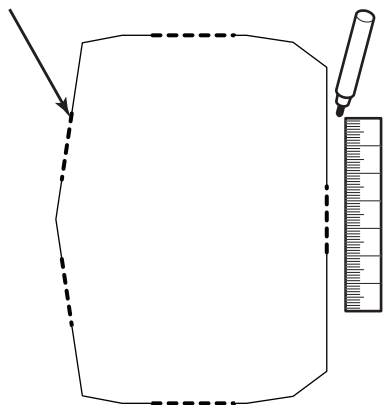
- ⑧ 型紙⑩のマーキングライン(太線部)とボルト穴マーキングラインに沿ってルーフヘッドライニングにマジック等でマーキングする。
- ⑨ 型紙⑩を取り外す。

⚠ 注意

- 型紙⑩を取り外す際、車室内に押しピン等を残さないようにしてください。押しピン等でケガをする恐れがあります。

■ ルーフヘッドライニングを下げないで作業する場合

定規等を使用して、マーキングした線と線を結ぶ(破線部)



3 ルーフヘッドライニングを切り取る

① ルーフヘッドライニングにマーキングした線と線を、定規等で結ぶ。

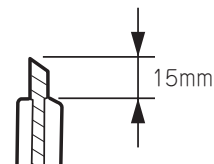
② ルーフヘッドライニングのマーキング部とボルト穴(4箇所)をカッターナイフ等で切り取る。

⚠ 注意

- ルーフヘッドライニングを切り取る際、保護メガネと保護手袋(ケブラ手袋)を着用して作業を行ってください。これらの保護具を着用しないで作業を行うと、切り粉が目に入ったり、カッターナイフ等やガラス繊維で手などにケガをする恐れがあります。
- 天井裏の車両ハーネスを切断しないよう注意して作業を行ってください。

🔪 アドバイス

- カッターナイフ等の刃先は15mm程度出して切り取り作業を行ってください。

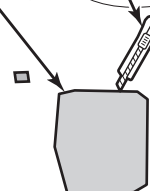


- 矢印の向き➡に合わせてカッターナイフ等の刃を向けてください。
- 切り取り作業後に車室内に落ちた切りくずを取り除いてください。
- マーキングしたラインの外側を切り取ってください。

カッターナイフ等で切り取る

ボルト穴 (4箇所)

マーキングライン

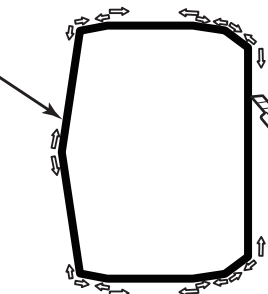


車両前

カッターナイフ等で切り取る

外側ラインを切る

カッターナイフ等で切り取る



ボルト穴 (4箇所)を
カッターナイフ等で切り取る

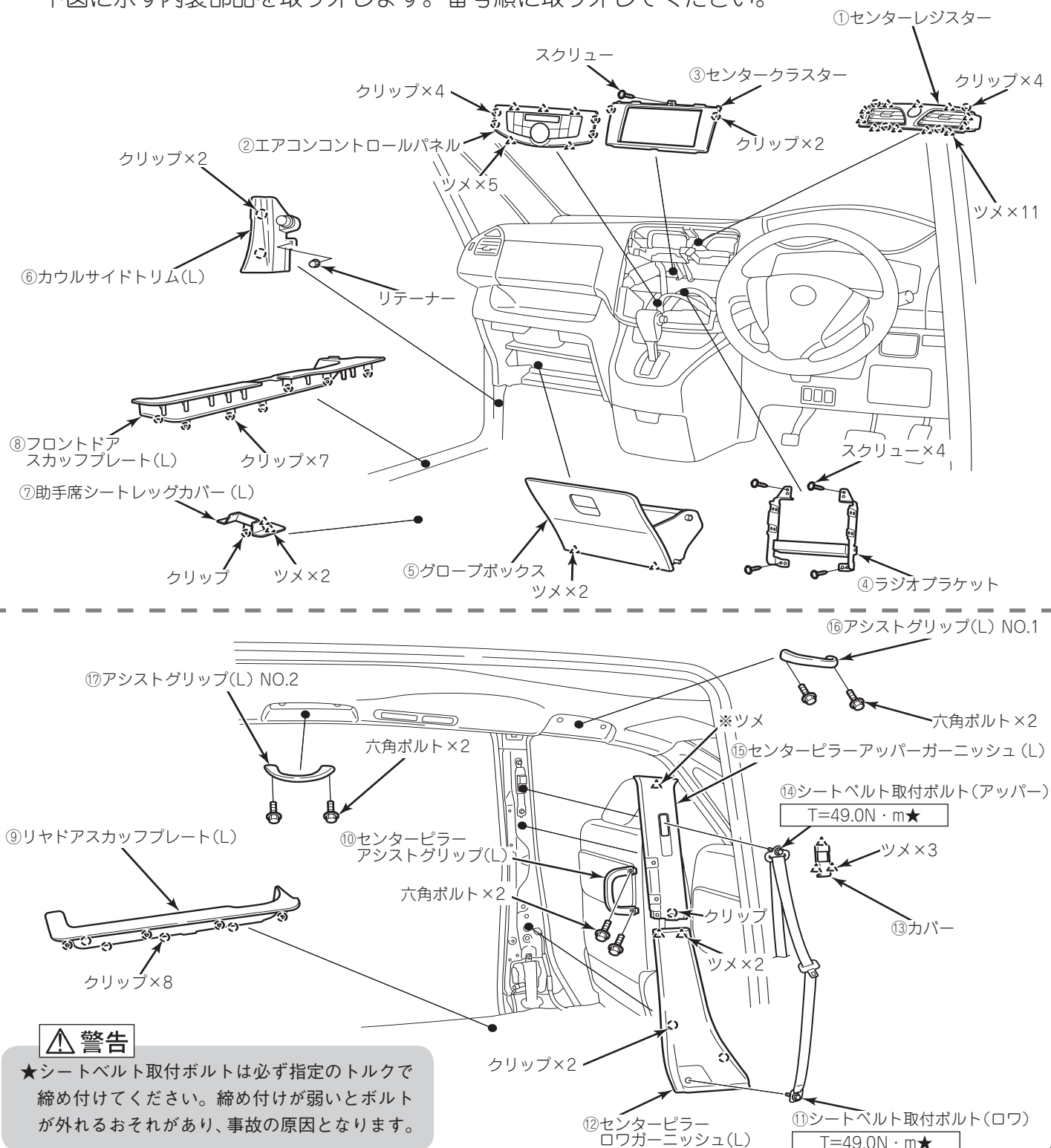
● 車両部品の取り外し

■ ルーフヘッドライニングを下げないで作業する場合

⚠ 注意

- キズ防止のため、要所をマスキングテープ等で保護してください。
- ネジおよびクリップ等の紛失に注意してください。
- センターピラーアップパーガーニッシュ (L、R) のツメ(※部)が壊れやすい為、注意して取り外してください。
ツメ(※部)が破損した場合は、必ず新しい部品をお買い求めのうえ、取り付けを行ってください。
品名：センターピラーアップパーガーニッシュ (左)
- ・カーテンエアバッグ無し車用
純正品番：B8088-1VA01 (別売)
- ・カーテンエアバッグ付き車用
純正品番：B8088-1VA11 (別売)
- 品番は予告なく変更になる場合があります。カーディーラー等にお問い合わせください。

・ 下図に示す内装部品を取り外します。番号順に取り外してください。



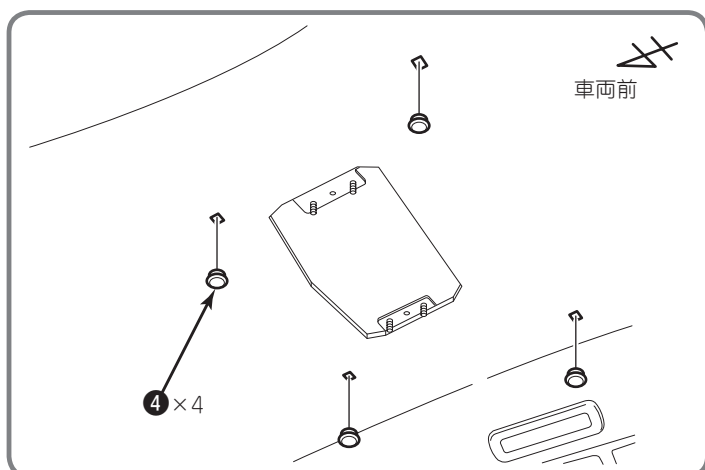
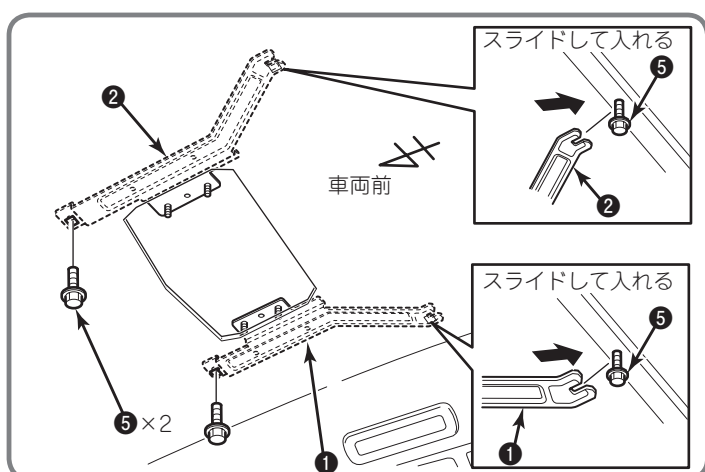
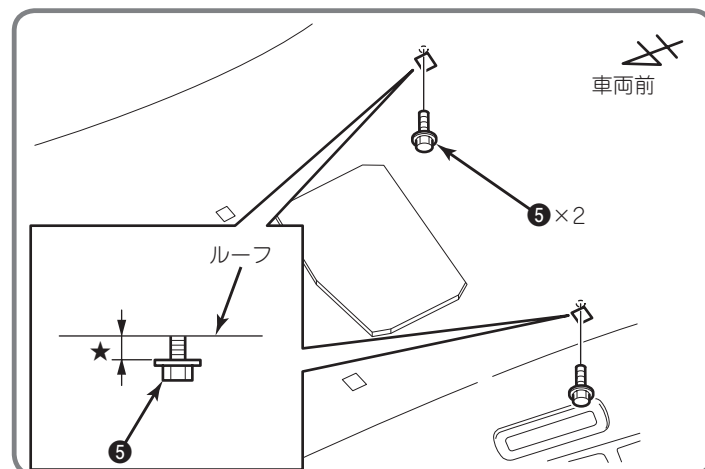
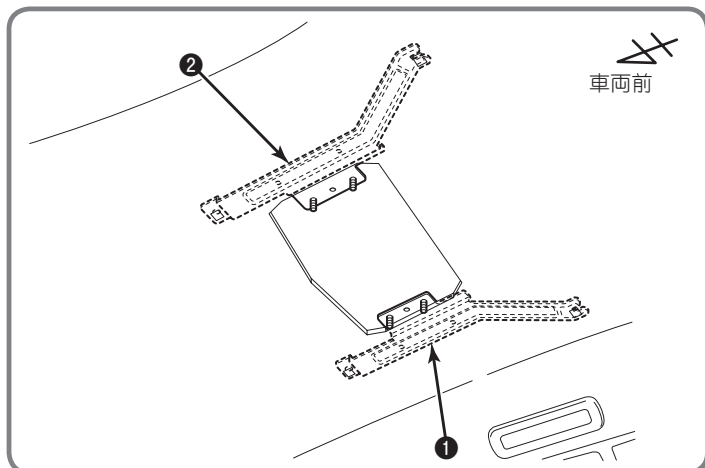
⚠ 警告

★シートベルト取付ボルトは必ず指定のトルクで締め付けてください。締め付けが弱いとボルトが外れるおそれがあり、事故の原因となります。

●ブラケットの取り付け

■ ルーフヘッドライニングを下げないで作業する場合

■ ブラケット取付位置概要



1 ブラケットの取り付け

- ① 六角ボルト⑤を車両後ろ側の取付穴に仮固定する。

🔧 アドバイス

- 六角ボルト⑤は、ブラケット(R、L)①・②が入る程度の★隙間を残して仮固定してください。

- ② 取付ブラケット(R、L)①・②を車両に取り付ける。
③ 六角ボルト⑤を締め付ける。

⚠ 注意

- 取付ブラケット(R、L)①・②のガタツキやゆるみが無く固定されていることを確認してください。六角ボルト⑤の締め付けが弱いと固定が外れ、脱落し思わぬ事故につながる恐れがあります。
- ルーフヘッドライニングに無理な力を加えて折り曲げないように注意してください。

🔧 アドバイス

- 車両後ろ側の六角ボルト⑤に取付ブラケット(R、L)①・②を引っ掛けてから、車両前側の六角ボルト⑤を固定位置に合わせてください。

- ④ ボルト穴にネジ隠しキャップ④を取り付ける。

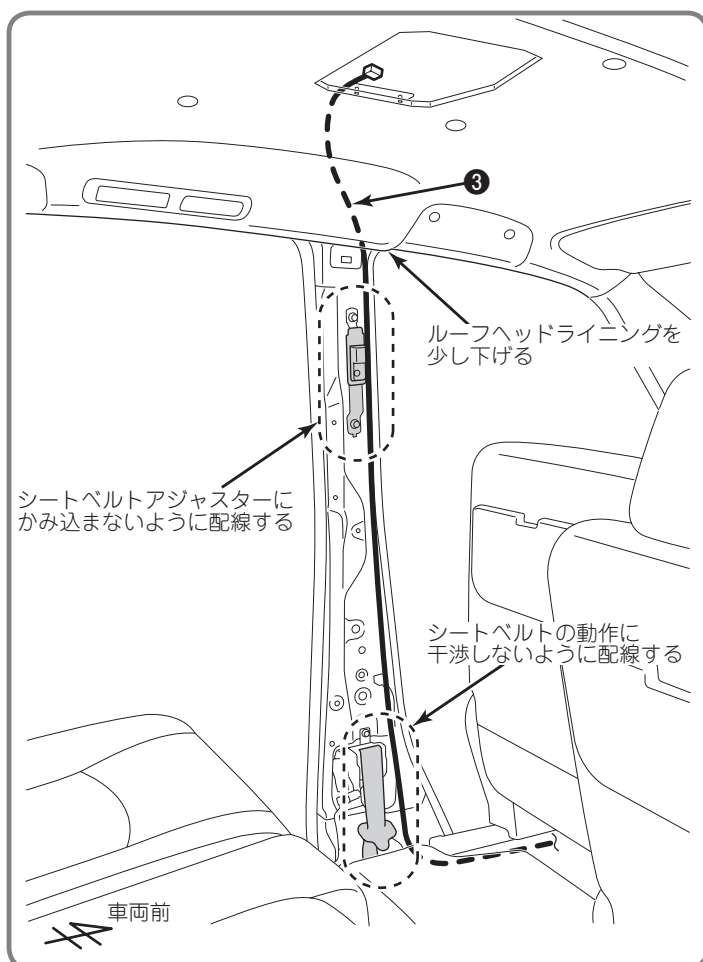
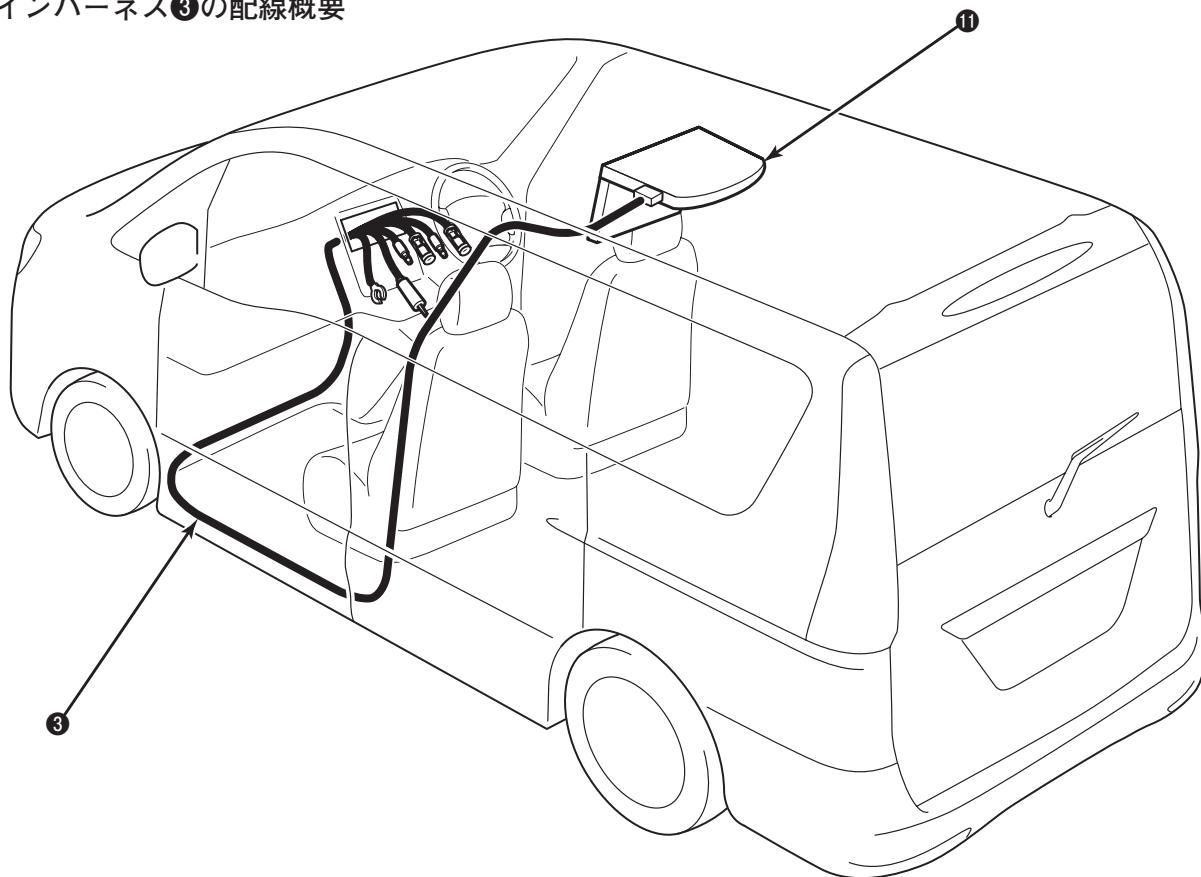
🔧 アドバイス

- ルーフ切り取り部にネジ隠しキャップ④の溝を合わせて取り付けてください。

●ハーネスの取り付け

■ 共 通

■ メインハーネス③の配線概要



1 メインハーネスを配線する

- ① メインハーネス③をセンターピラー(L)からルーフヘッドライニング切り欠き穴まで配線する。
- ② メインハーネス③をハーネス固定テープ⑧等で車両に固定する。

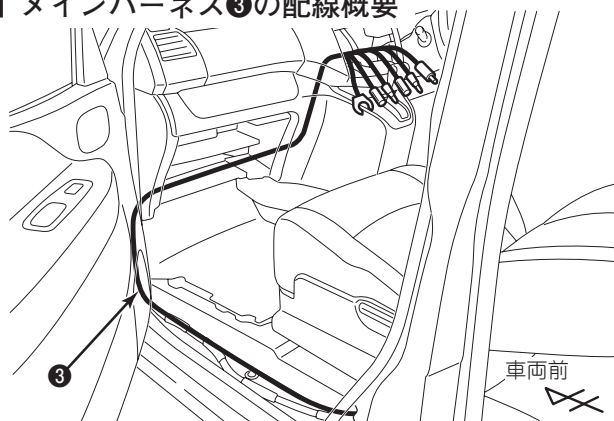
⚠ 注意

- コード類は、運転操作の妨げとならないよう、ハーネス固定テープ⑧で固定してください。車両の可動部等に巻き付くと事故の原因となり危険です。
- ルーフヘッドライニングに無理な力を加えて折り曲げないように注意してください。
- カーテンエアバッグ付き車の場合、カーテンエアバッグの動作を妨げないように配線してください。

📌 アドバイス

- 車両エッジ部を避けて配線してください。干渉する場合は、エッジ部分にハーネス固定テープ⑧を貼り付けてください。
- 後席用モニター本体⑪取り付け時、メインハーネス③のかみ込みが無い事を確認してください。
- ルーフヘッドライニングとメインハーネス③が干渉してルーフヘッドライニングの盛り上がりや変形が無いことを確認してください。

■ メインハーネス③の配線概要



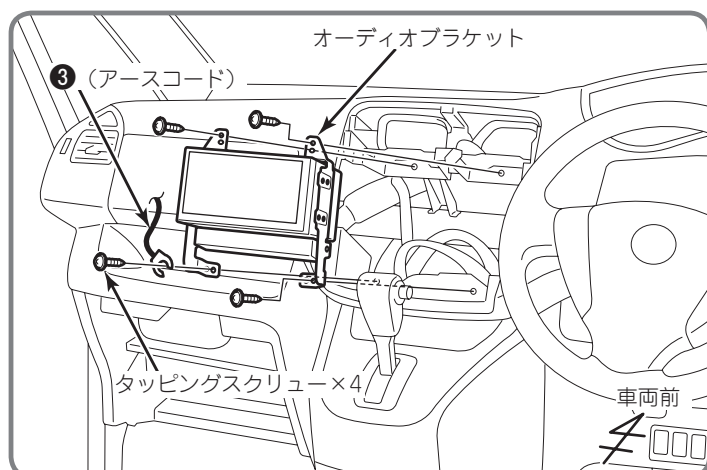
- ③ メインハーネス③をハーネス固定テープ⑧およびバンドクランプ⑨等で固定しながらオーディオ開口部まで配線する。

⚠ 注意

- コード類は、運転操作の妨げとならないよう、ハーネス固定テープ⑧およびバンドクランプ⑨でまとめてください。シフトレバー等に巻き付くと事故の原因となり危険です。

🔧 アドバイス

- 車両エッジ部を避けて配線してください。干渉する場合は、エッジ部分にハーネス固定テープ⑧を貼り付けてください。
- 車両内装トリムを復元した際、コードのかみ込みが無いことを確認してください。
- あまったコードをまとめるときは、メインユニットから30cm以上離してください。



- ④ メインハーネス③のアースコードをオーディオブラケット左下側のタッピングスクリューで取り付ける。

🔧 アドバイス

- ボデーアースが確実に取れていることをテスターで確認してください。

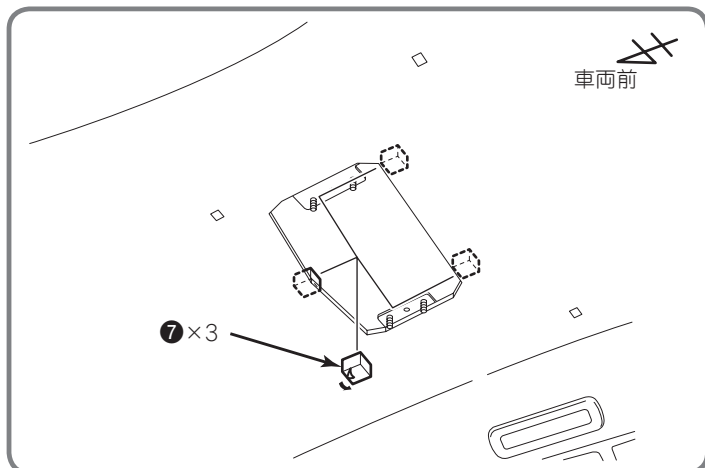
- ⑤ 取り外した車両部品を復元する。

🔧 アドバイス

- 「車両部品の取り外し」に記載されている逆の手順で復元を行ってください。

●後席用モニター取り付け

■ 共 通



1 スポンジスペーサを取り付ける

- ① ルーフ切り欠き穴からスポンジスペーサ⑦を入れる。

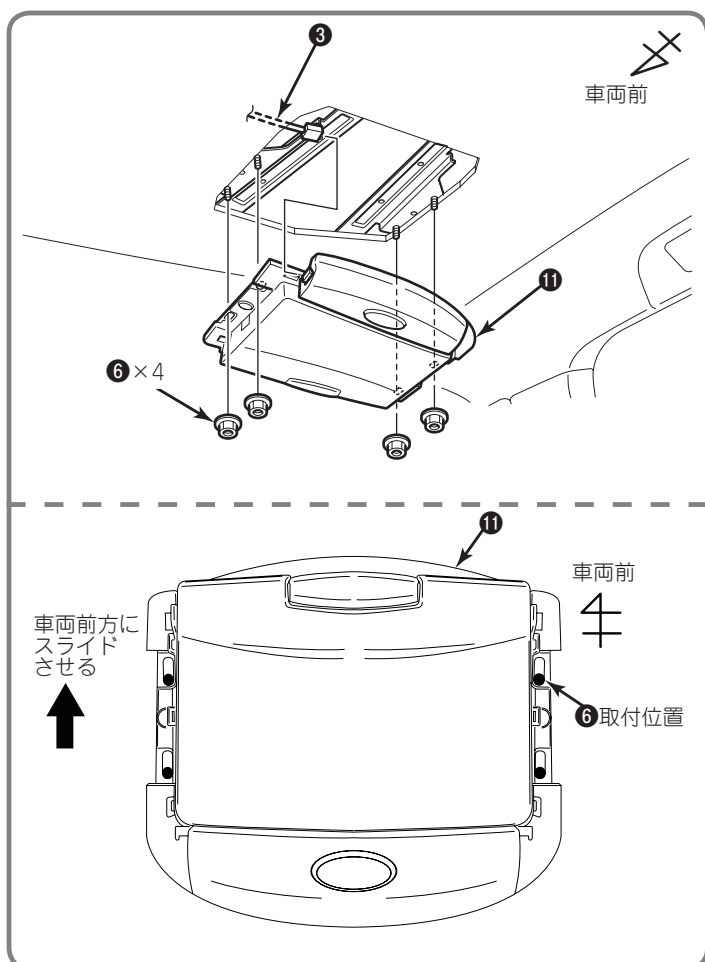
⚠ 注意

- ルーフヘッドライニングに無理な力を加えて折り曲げないように注意してください。

- ② ルーフヘッドライニング内側にスポンジスペーサ⑦を貼り付ける。

🔧 アドバイス

- 図中のスポンジスペーサ⑦の貼付位置は一例です。ルーフヘッドライニングと後席用モニターとの隙間が小さくなるように位置を調整し、任意の位置に貼り付けてください。
- スポンジスペーサ⑦は、配線や後席用モニター本体⑪の取り付けに支障のない位置に貼り付けてください。
- 後席用モニター本体⑪を取り付けた際にルーフヘッドライニングと後席用モニター本体⑪のすき間を低減する為に、スポンジスペーサ⑦は必ず取り付けてください。



2 後席用モニター本体を取り付ける

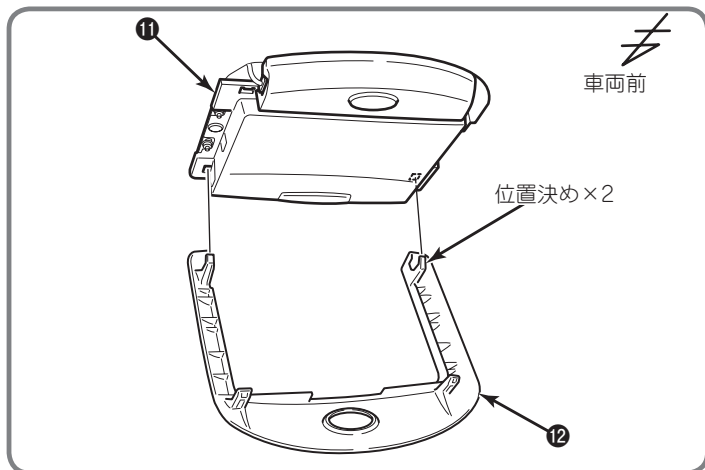
- ① 後席用モニター本体⑪にメインハーネス③を接続し、六角ナット⑥で固定する。

⚠ 注意

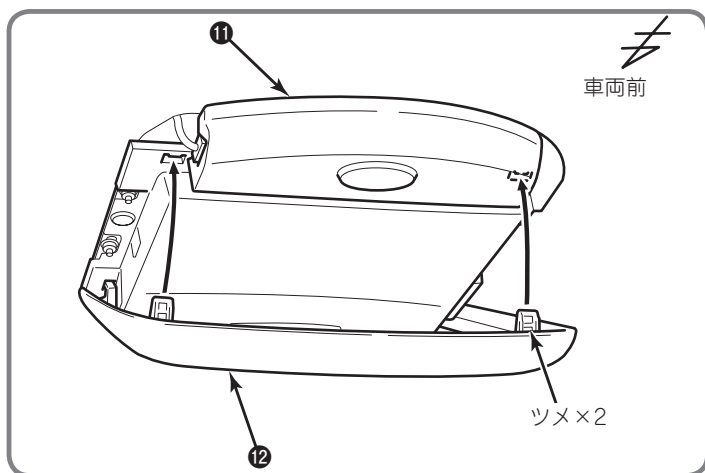
- 後席用モニター本体⑪を固定する前に、必ずコネクタを接続してください。

🔧 アドバイス

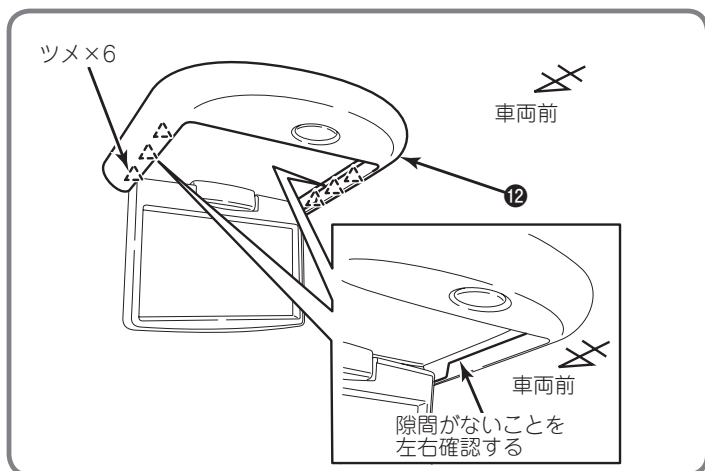
- 後席用モニター本体⑪取り付け時、メインハーネス③のかみ込みが無いことを確認してください。
- 後席用モニター本体⑪のガタツキやゆるみが無く固定されていることを確認してください。六角ナット⑥の締め付けが弱いと後席用モニター本体⑪が外れ、脱落し思わぬ事故につながる恐れがあります。
- 後席用モニター本体⑪を車両前方向にスライドさせて固定してください。



② 後席用モニター本体⑪にモニターカバー⑫の位置決めを差し込む。



③ 後席用モニター本体⑪にモニターカバー⑫を取り付ける。



アドバイス

- モニターカバー⑫内側のツメが後席用モニター本体⑪にしっかりと入っていることを確認してください。
- 隙間があいている場合は、カチッと音がするまでモニターカバー⑫を押し込んでください。

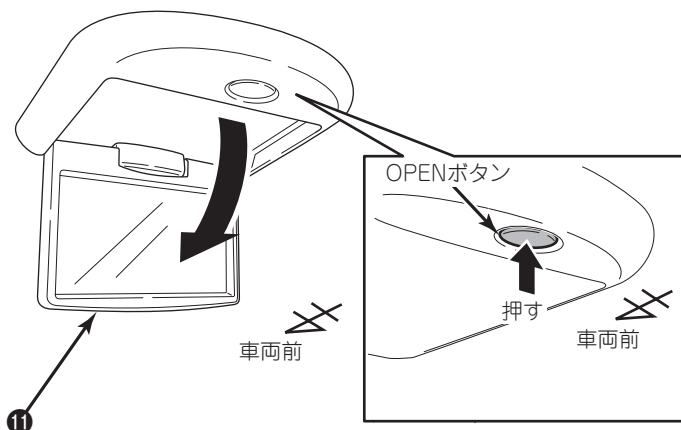
●取り付け後の作動確認

1 車両のエンジンを始動し、ナビゲーション等を起動する

🔔 アドバイス

- シフトポジションや周囲の安全を確かめてから車両のエンジンをかけてください。

2 ディスプレイを開く



- ① 後席用モニター本体⑪ OPEN ボタンを押し、ディスプレイを開く。

- 指で押すとディスプレイ部が開き、電源がONになることを確認してください。
- ディスプレイ部が固定される位置まで手で引きます。

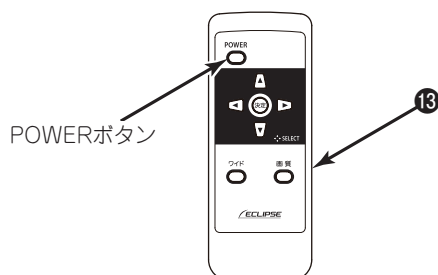
3 映像が映ることを確認する

- ① ナビゲーション側を AV モードの TV や DVD に切り替え、後席用モニター本体⑪に映像が映ることを確認する。

お願い

- 後席用モニター本体⑪に映像が映らない場合は、映像入力端子の接続状態を確認してください。

4 電源の ON/OFF が出来ることを確認する



- ① リモコン⑬の POWER ボタンを操作し、電源の ON/OFF が出来ることを確認する。



090003-32880700
1209 (CN)